

# 令和6年度 三重県 認知症対応型サービス事業開設者研修 カリキュラム

講義 6時間(360分) 実習:外部実習1日間 提出:レポート

日時	項目	分	区分	ねらい及び内容
----	----	---	----	---------

令和7年2月22日(土) 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室B

1日	9:10~9:20	受付			
	9:20~9:25	オリエンテーション			
	9:25~10:25	認知症高齢者の基本的理解	60	講義	認知症という病気を「医学的」「心理的」に理解し、認知症という障害を抱えながら自立した生活を送ることの意味と支援の重要性を理解する。
	10:25~10:30	休憩			
	10:30~12:00	認知症高齢者ケアのあり方	90	講義	認知症高齢者の基本的理解を基に「権利擁護(高齢者虐待を含む)」及び「リスクマネジメント」の基本的な知識を付与し、自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援に必要な考え方を理解する。認知症高齢者の介護理念について
	12:00~13:00	昼休み			
	13:00~14:00	家族の理解/高齢者との関係の理解	60	講義	家族介護者及び他の家族も含めた家族の理解と高齢者と家族の関係を通して、認知症介護に生じる家庭内の様々な問題や課題について理解し、家族支援の重要性を理解する。
	14:00~14:05	休憩			
	14:05~16:35	地域密着型サービスの取組みについて	150	講義	地域密着型サービスの指定基準の理解 認知症介護サービス事業の各事業所のサービス提供のあり方についての理解 地域密着型サービスの意義と事業所理念について
16:35~16:40	現場体験について			現場体験についての連絡事項等	

1日	9:00~16:00	現場体験	240以上	演習	利用者の立場から各事業所におけるケア体験することにより、利用者にとっての適切なサービスの提供の在り方について考える。 (※運営する上で利用者の視点でサービスを提供することが求められます。他施設で実習することにより、自施設で取り入れられそうなことや、意見交換をすることによって運営する上でヒントになりそうなことを発見する。)
----	------------	------	-------	----	--

		効果測定 現場体験等に関するレポートの提出			研修終了後の自己評価及び講義・現場体験を通じて、認知症介護についての理解や今後の経営に役立つ内容を2000文字以上のレポートの提出。
--	--	--------------------------	--	--	--